



加藤 克之 議員 無会派

問 高齢者の医療体制の充実へ

答 健康保持増進を推進していく

問 フレイルとは。

答 健康福祉部長 身体的、精神的、社会的に脆弱性が高まっている状態で、体力や活動量が低下し、転倒や骨折などのリスクが高まる。うつ傾向や社会的孤立が重なりやすい。

問 サルコペニアとは。

答 筋力量が低下し、筋力や身体機能が損なわれる症状を示すこと。特に下半身の筋力が衰え、歩行速度が遅くなり、立ち上がりが困難になる。

問 フレイルなどの用語の周知や啓発活動は。

答 ふれあいサロンの出前講座、生涯元気講演会で啓発。市ホームページや広報誌でも取り上げている。

問 フレイル、サルコペニアの予防対策は。

答 歯科検診などによるオーラルフレイル対策事業、元氣塾や通所型サービスCなど介護予防事業等。

問 市内にかかりつけ医となりうる診療所は。

答 医科診療所 27 か所、歯科診療所 18 か所。

問 十四山総合福祉センター多目的広場の一部を貸し付けた進捗は。

答 令和7年1月に医療法人と市有財産有償貸付契約を締結し、3月から工事着手。

問 標榜する診療科名は。

答 内科、呼吸器内科、リハビリテーション科。

問 医療施設内に歩行訓練用トレーニングルームの計画は。

答 建設されている。

問 市長の見解は。

答 市長 まずは健康第一であり、それにはフレイル予防が重要。

フレイル予防は、「栄養と口腔」「運動」「社会参加」の三本柱をバランスよく取り組むことを日頃から意識してほしい。また、どの世代にも健康をサポートする頼もしい存在であるかかりつけ医をもってほしい。

